

スマートフォンは Wi-Fi で！

酒井 寿紀 (Sakai Toshinori) 酒井 IT ビジネス研究所

3G か、Wi-Fi か？

スマートフォンをインターネットにつながるときは、携帯電話回線 (3G と 4G があるが、以下 3G と略記) か無線 LAN (以下: Wi-Fi) のいずれかを使う。ユーザーにとっては、できるだけ Wi-Fi を使った方が費用がかからない。定額契約をしていれば費用は変わらないが、3G の通信量が少なければ、部分的に従量制を取り入れた料金体系を使って安く済ますこともできる。そして、Wi-Fi の方が高速だ。通信事業者にとっても、できるだけ Wi-Fi を使ってもらった方が、3G の周波数帯域逼迫の問題が緩和される。

このように、Wi-Fi は両者にとってメリットがあるにも関わらず、通信事業者は必ずしも Wi-Fi の利用の普及に力を入れて来なかった。例えば、2009 年 11 月に当時の NTT ドコモの社長は、「(あくまで 3G が中心で) Wi-Fi は補完的に使うもの」と言っていた⁽¹⁾。

また、前に本コラムに記したように、Android のスマートフォンを自分で使ってみて、Wi-Fi の使い勝手の悪さに驚いた⁽²⁾。

このように、3G と Wi-Fi の使い分けについて問題が多かったため、今後は「固定網でできることは固定網 (+Wi-Fi) で」、「モバイル網はモバイル網でしかできないことだけに」という考えが必要だと指摘した⁽³⁾。

このスマートフォンの Wi-Fi 対応の問題は、その後どうなっただろうか？

各社が Wi-Fi に注力

スマートフォンの Wi-Fi 接続は、その後改善されつつある。

3 大通信事業者中、公衆無線 LAN のアクセスポイントの設置に最も非積極的だった NTT ドコモも、最近はその設置に力を入れている。2012 年 2 月に 8,100 か所だった同社のアクセスポイントは、現在 12 万か所を超え、急速に他社に近づいた。現在 3 社とも、ファストフード店、コンビニエンスストアなどへの展開に力を注いでいる。

そして、一部の新幹線や航空機でも Wi-Fi が使えるようになった。

また、以前はスマートフォンやタブレットの Wi-Fi の接続設定が任天堂やソニーのゲーム機より手間がかかったが⁽⁴⁾、最近の Wi-Fi の親機では簡便に設定できるようになった。

そして、自宅の Wi-Fi のほか、公衆無線 LAN についても、自動的に電波を検出して接続するものも現れた。

このように、通信事業者や機器メーカーの努力によって、問題が多かったスマートフォンの Wi-Fi 接続はかなり改善された。では、この問題はすっかり片付いたのだろうか？

今後の望ましい姿は？

現在でもまだ問題が多いのが実態だ。

データの同期や更新は、指定したときか Wi-Fi が使える環境下だけで実施すれば十分なのに、3G しか使えないところで自動的に始まることがある。

また、街を歩いていると、自動的に

Wi-Fi の電波を検出してどんどん登録するが、認証が必要で契約していないアクセスポイントは登録されても使い道がない。

そして、Wi-Fi の環境下で安心してインターネットを使っていると、いつの間にか 3G に切り替わっていて、莫大な通信料を請求されることがある。これが最も馬鹿馬鹿しい。

そこで小生は、通常は 3G でのデータ通信を一切禁止する設定にした。スマートフォンでインターネットを使うのは Wi-Fi の設備があるところが大半なので、これで十分だ。こうすれば、3G しか使えないところで、自動的にデータの同期や更新が始まることも、広告が配信されることもない。もちろん、街角でコンビニやレストランなどを探す時は、データ通信を許可するモードに切り替える必要があるが、そういうケースはそれほどなく、電話はいつでもかけられるので、問題はない。

こういう使い方をすれば、通信料は極わずかで済むので、小生のように Wi-Fi の環境下でスマートフォンを使うことが多い人にはお勧めだ。ただ、現在の Android ではデータ通信のオン／オフの切り替えに多少手間がかかるので、これがワンタッチでできるようにしてほしいものだ。現在、こういう機能をサポートするアプリケーション・ソフトもあるようだが、これは OS の基本機能にするべ

きである。

要するに、スマートフォンのデータ通信は、「Wi-Fi が主で、3G が従」が望ましい姿だ。そうだとすると、現在のように、「通信事業者の主たる収入源は 3G で、公衆無線 LAN は 3G の契約を獲得するための無料のオマケ」というビジネス形態は改める必要がある。公衆無線 LAN を 3G と同格の独立したビジネスとして成り立たせる必要がある。

そのような時代が来れば、3G の主対象は一般のスマートフォンではなく、車載機のように、もっぱら Wi-Fi が使えないところで使われる機器になるのではなからうか？ もっとも、車載機とインターネットの接続にスマートフォンが利用される可能性はあるが。

- (1) 「孫社長「Wi-Fi が答えだ」 山田社長「Wi-Fi より 3G」 ソフトバンクモバイルとドコモが新サービス」, ITmedia ニュース, 2009 年 11 月 10 日
(<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/0911/10/news128.html>)
- (2) 「自分で自分の首を絞める通信事業者」, OHM, 2011 年 12 月号, オーム社
(<http://www.toskyworld.com/archive/2011/ar1112ohm.htm>)
- (3) 「3G と Wi-Fi、いずれが主役？」, OHM, 2012 年 4 月号, オーム社
(<http://www.toskyworld.com/archive/2012/ar1204ohm.htm>)